

高齢者の住まいが多様化している。「生きがいづくり」や「地域交流」など特色を打ち出す老人ホームや住宅が目立ってきたほか、病弱な高齢者のための「介護療養院」と呼ぶ施設も登場した。選択肢は広がるが、一般の高齢者や家族にとっては複雑でわかりにくい面も強まる。主な住居・施設の概要や費用を知つておき、いざというとき慌てないようにしたい。

### 駄菓子屋で店番

千葉県浦安市。住宅街にある「サービス付き高齢者向け住宅(サ高住)」の「銀木庫(ぎんもくせい)」を訪ねると、「ここがどういう施設のかわからなくなっている。玄関脇に駄菓子屋があり、子どもたちが頻繁に入りしているからだ。そして駄菓子屋の店番をしている高齢者がここに入居者であると知つて驚く。87歳の女性は「ここは気に入っている。最期までいたい。店番もできるつちはずとやりたい」とほほ笑む。

サ高住は入居者が室内で倒れたりしていなかといつた安否確認などのサービスを提供する賃貸住宅。普通のワンルームマンション風のところが多く、共用の食堂を備え3食を提供するのが一般的だ。国が2011年に設けた制度に沿つて民間事業者が運営する。急速に整備が進み、現在全国で約23万戸ある。

数が増えるにつれ特色を示すサ高住も出てきた。銀木庫もその一つ。麓慎一郎所長は「何でも自由に可能な限り自分でやってもらうこと、地域に開かれた場であることが特色」という。

千葉県浦安市。住宅街にある「サービス付き高齢者向け住宅(サ高住)」の「銀木庫(ぎんもくせい)」を訪ねると、「ここがどういう施設のかわからなくなっている。玄関脇に駄菓子屋があり、子どもたちが頻繁に入りしているからだ。そして駄菓子屋の店番をしている高齢者がここに入居者であると知つて驚く。87歳の女性は「ここは気に入っている。最期までいたい。店番もできるつちはずとやりたい」とほほ笑む。

# 自分に合う高齢者住宅

## 健康状態と費用から見た高齢者の住まい・施設(イメージ)

自立・健康

介護が必要

介護付き有料老人ホーム

- 施設スタッフが介護サービスを提供
- 入居一時金 0~1億円超
- 月額費用 10万~30万円

住宅型有料老人ホーム

- 生活支援サービスがある
- 介護サービスは事業者と別契約
- 入居一時金 0~1億円超
- 月額費用 10万~30万円

サービス付き高齢者向け住宅

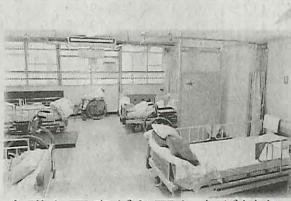
- 安否確認や生活相談サービスがある賃貸住宅
- 介護サービスは事業者と別契約
- 月額家賃 5万~25万円
- 敷金が必要な場合も



地域の子どもたちも出入り自由(千葉県浦安市の銀木庫)

グループホーム

- 認知症の人が対象
- 施設スタッフが介護サービスを提供
- 月額費用 12万~18万円
- 前払い金が必要な場合も



介護と医療が必要な人が対象(埼玉県川口市のはとがや病院)

介護医療院・療養型医療施設

- 介護と医療の両方が必要な人が対象
- 病院スタッフが医療・介護サービスを提供
- 月額費用 7万~17万円

老人保健施設

- 病院を出た人がリハビリで自宅復帰を目指す
- 施設スタッフがサービスを提供
- 月額費用 6万~16万円

特別養護老人ホーム

- 常時介護が必要な人が対象
- 施設スタッフが介護サービスを提供
- 月額費用 5万~15万円

(注)東京都の「あんしんなつとく高齢者向け住宅の選び方」や高齢者住宅財団の資料などに基づいて作成。地域や施設により費用などはバラツキがある

安い

設  
建  
物  
内  
に  
介  
護  
事  
業  
所  
を  
併  
設  
し  
、  
近  
隣  
の  
医  
療  
機  
関  
と  
提  
供  
す  
る  
。

## 要介護度で選択肢広く

携しているので、ひとりまで対応できることもアピールする。サ高住は当初、「一人暮らしは少し不安」といった比較的元気な高齢者を想定して始まっただけに、ひとりの対応は難しいとも珍しくない。

特色づくりは成功しているようだ。全42室の銀木庫は満杯だ。費用は1人部屋の場合で1日3食付けて月約20万~25万円。ほか

一般的に介護必要度が高まれば「特別養護老人ホーム」や「介護付き有料老人ホーム」、認知症なら「グループホーム」などが適しているとされる。しかし単

に日用生活費、医療費、介護費なども必要になる。10月12日。東京都内で優良な高齢者住宅を事業者の団体が選ぶ「リビング・オブ・ザ・イヤー2018」が開かれた。大賞を獲得したのは入居者に仕事の場を提供する介護付き有料老人ホーム。最終選考に残った施設には「生きがいづくり」

「地域との交流」を打ち出しているとされる。しかし単

にからだの状態で選ぶだけではなく、最近は「高齢者本以為したいことを尊重できる場が求められている」(高齢者住宅に詳しいタムラプランニング&オペレーターの田村明孝社長)。

一方、病弱な高齢者はからだの状態で施設を選ばざるを得ない場合もある。国はそういう人たちのための新たな居場所として介護医療制度をつくりた。

埼玉県川口市のはとがや病院。この病棟の一角に5月、同制度の認可を受けた施設がオープンした。一見、普通の病室と変わりないが、生活の場であることにまでいることができる。

同病院によると、「別の

病院から退院を迫られたものの、家族に頼れず自宅に戻ることもできない」といった人が病院の紹介で入るケースが大半」という。かか

こへの転換を促している。現時点ではまだ数は限ら

が、必要な高齢者が長期入院する療養型病棟を設ける場合があった。しかし生活の場とは言い難いため国は從来よりは居住面を重視した介護医療制度を始め、そ

る費用は総額で月13万円程度。定員は98人で、ほぼ埋まっている。

### 病院介護の受け皿

これまでも病院には介護

が、生活の場であることにまでいることができる。

現時点ではまだ数は限ら

が、生活の場であることにまでいることができる。

これまでも病院には介護

が